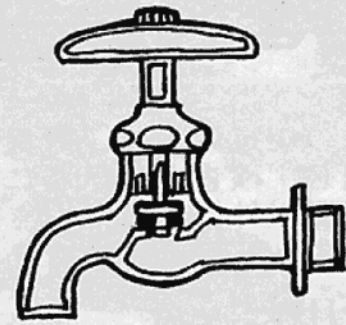


水道週間

6月1日～7日



期間中は
パッキングを
無料で修理します

第二十回水道週間が、六月一日から七日まで、全国的に展開されます。この週間は、健康を守り、産業を興し、消火に役立ち、豊かな生活を約束する「水道」を理解してもらおうものです。

市ではこの期間中、みなさんの便宜をはかるため、水道パッキングの無料修理を行います。詳しいことは、後日チラシでお知らせします。修理をご希望の方は、そのときお申し込みください。

くらしの知恵

古紙は町の

森林資源

紙の原料は、木材（パルプ原木・チップ）と、もう一つは古紙です。その古紙ですが、紙の原料とした場合、一トで高さ八尺、直径十六寸の原木二十本分に相当します。いま仮に、あなたの家庭で全国紙（一紙）を購読していると、読んであと捨てないで毎日ためたとしますと一年間で、ほぼ五十キロになります。これを紙の原料として再生利用した場合、貴重な森林資源である原木一本を、伐採しなくて済むこととなります。

一本の木が紙の原料として使えるまでに成長するには、広葉樹で十数年、成長の早い針葉樹で十二～十三年かかります。その原木一

本分を古紙に換算した場合、家庭では「一年」で育つ計算になるわけで、古紙が「町の森林資源」といわれるのもそのためです。

現在、私たちの使っている紙製品の四割は古新聞や古雑誌、ダンボール屑などの回収古紙でまかな

われています。

古紙の利用は「ゴミ戦争」を緩和してくれるほか、木材から紙にする場合に比べ、パルプの生産工程が省けますので、電力や水の使用量が少なくて済み、いろいろな利益を生み出します。

通算年金制度で老後も安心です

老齢（退職）年金をうけるには、一つの年金制度に二十年もしくは二十五年という長期間、加入していることが支給の要件になっています。

そこで、このような場合に、それぞれの年金制度に加入していた期間をつなぎあわせて、一定の期間になれば、それぞれの年金制度から加入期間に応じた年金を支給する「通算年金制度」を設けています。この通算年金制度により、すべての人が年金をうけられるので、老後も安心です。

このため、一つの年金制度で、老齢年金の支給要件を満たす前に職業を変えて、いくつかの年金制度に短期間づつ加入したような場合は、どの年金制度からも老齢年金をうけることができなくなってしまう。

詳しいことは、市民課年金係（☎④一一一内線二五）にお尋ねください。

市史編さん誌だより

99

明治からのあゆみ 昭和7年⇒8年



運行当時のケールカー

- ⑳ 日光電気軌道と日光自動車の合併（昭和7年6月13日）
東武鉄道の系列である日光電気軌道株式会社は、日光町の輸送強化のため、日光自動車株式会社（大正5年12月金谷真一が設立）を合併し、11月には社名を日光自動車電車株式会社と改めた。昭和19年7月、日光軌道株式会社となり、昭和22年東武鉄道に合併した。
- ㉑ ケールカーの開通（昭和7年8月28日）
観光客の利便をはかるため、有志が二〇〇万円を出資して、日光登山鉄道株式会社を昭和2年3月に設立した。
昭和4年3月工事着工、約二年半を経て、ケールカーを完成。馬返・明智平間一二六五尺を六分で運転した。定員は八〇人で、初日の乗客は、二八〇人であった。
- その後、昭和20年1月、企業整備で、日光軌道に合併され、同22年6月には、日光軌道が東武鉄道に合併された。同45年3月、第二いろは坂の完成によるマイカー激増のため廃止された。
- ㉒ 細尾スケートリンク開場（昭和7年12月25日）
日光町が、工事費二万余円を投じて、四千坪（約一三二アール）という東洋一（当時）の広さをもつスケートリンクが細尾に完成した。オープンには、故鳩山一郎文部大臣ほか県内外から三五〇名の参列者があり、観客数千名の中で、オール東京対オール日光のアイスホッケー試合をはじめ、式典が盛大に行われた。